

第12回高知の輝くシニア大賞及びシニア川柳

高知県社会福祉協議会では、平成26年度よりシニアの生きがい・健康づくりについて啓発することを目的に「高知の輝くシニア大賞」として、高知県内で長年地域づくりやスポーツ・文化面で活躍される概ね65歳以上のシニアを表彰しています。また、本年度より地域のためにボランティアな活動をするシニアをより多く表彰し、広く紹介していくために、地域貢献部門において個人だけではなく団体も推薦できるようになりました。

なお、シニア大賞を広く知っていただくためのプロモーション企画として「シニア川柳」の募集も併せて行っております。

高知の輝くシニア大賞

(年齢は令和7年11月1日時点のものとなっております。)

今年度開催した第12回高知の輝くシニア大賞では、地域でのボランティア、グラウンド・ゴルフや弓道など様々な活動をしている7名のシニアの方々に対して、大賞1名、地域貢献部門特別賞1名、スーパーシニア部門特別賞1名、いごっそう賞1名、はちきん賞1名、キラリ賞2名の受賞を決定しました。また、本年度より地域貢献部門において団体も応募していただけるようになり、地域のつながりづくり等を行う5団体に対して、大賞1団体、特別賞1団体、キラリ賞3団体の受賞を決定しました。そこで、受賞が決定した皆様をご紹介します！

個人



シニア大賞

平田さんさんクラブ

濱田 定夫さん(98歳・高知市)



濱田氏がボールを打つ姿

平田さんさんクラブの会長嶋岡氏から21年前ほどにお誘いがあり、グラウンド・ゴルフ活動に参加することとなった。開始当初はグラウンドの草引き等を行い、整備を実施した。以降、98歳になった今でも真夏を除き週3回グラウンド・ゴルフの活動を継続している。98歳とは思えないほど、力強くボールをまっすぐと正確に飛ばすことができる。それには、打つときの集中力や意志の強さが必要だという。得点もクラブ内で上位に入ることが多く、メンバーからは「あの人が見よったら文句言えん」「皆が目標にしており、尊敬もしている」という声を聞いた。また、濱田氏自身も活動に参加することにより「メンバーと話をし交流ができる、何よりグラウンド・ゴルフが楽しい！」と話してくれた。98歳で力強くボールを打つ姿は、「まさにスーパーシニア！」と言えるものであった。



地域貢献部門
特別賞

佐川くろがねの会 他

吉野 毅さん (81歳・佐川町)

定年退職後、準備期間を経て、関係機関の協力を得ながら、平成19年4月に佐川くろがねの会を設立。立ち上げ時に吉野氏は副理事長兼事務局長という立場で先導的に活躍してきた。その後、理事長を勤め上げ、現在は顧問として活動。設立当初から、佐川くろがねの会における佐川の街並みガイド事業を精力的に行っており、その実績が認められ現在は外国人向けの英語ガイド対応、まちの駅活性化業務委託契約等、多くの委託事業を担っている。

その他にも地域自主防災組織を立ち上げ、活動している。災害時に利用できる備品をそろえ、備品台帳を作成。また、その備品はいざというときに地域住民が利用できるように貸出を行っており、貸出帳も作成しているという。

吉野氏は地域へ恩返ししたいという想いから様々な活動を行っており、非常に温厚でバイタリティー溢れる人物である。



スーパーシニア部門
特別賞

安芸児童合唱団はまゆう・童謡を楽しむ「ちいばっばの会」

中川 彩子さん (72歳・安芸市)

幼少期から絵画や音楽に触れ合い、そのなかで音楽に目覚めた中川氏。大学で声楽を専攻し、シニアになった今でも合唱の指導をしながら、音楽に関わり続けている。続けられる理由は「学んだ音楽で故郷の役に立ちたいから」とハツラツとした笑顔で話してくれた。

安芸市に児童の合唱団が誕生していなかったもので35年前に「安芸児童合唱団はまゆう」を立ち上げた。合唱やハンドベル、音楽劇の指導を行っている。「本番の舞台上で子どもたちがいきいきと輝くことが嬉しい」という。

また、童謡を楽しむ「ちいばっばの会」は、平均年齢76歳程の会員で構成されており、自分たちの発表の機会を得ながら、童謡を中心に楽しく歌っている。中川氏について会員に何うと「厳しくとも指導者として愛や優しさがあって素晴らしい」「音楽を本当に大切にしている」と話してくれた。



令和6年10月20日
童謡を楽しむ「ちいばっばの会」
第1回発表会の集合写真

NPO 法人さくらスポーツクラブ
セカンドライフ夢追い塾 他



いごっそう賞 志手 清晴さん (81 歳・佐川町)



現職時代は教職員をしており、退職後も佐川町の子どもたちへの教育に尽力している。定年退職後、「青少年育成高知県民会議」の事務局長を3年勤め、その後会長を2年ほど務める。国民会議で青少年育成アドバイザーが認定され、そのアドバイザーが参加する団体「高知県青少年健全育成アドバイザー協議会」の事務局長として現在も活躍中である。

準備期間等を経て、平成20年にNPO法人さくらスポーツクラブを立ち上げた。当初よりクラブ内の合唱団やラージボール卓球等の活動を行っている。

また、現職時代やクラブの活動実績が認められ、民生委員やさかわ未来学推進委員、佐川町スポーツ推進委員等、多方面で委員として活動している。日々多世代間交流ができるような工夫や子どもたちの教育につながる策を考えながら活動している。



はちきん賞 高知県弓道連盟 大池 文子さん (84 歳・高知市)



高校時代に弓道部に所属しており、60歳のときにテレビで弓道を見かけたことをきっかけに弓道を再開した。長い間ブランクがあり弓道の再開は大変であったが先生に励まされ、以降24年間継続して弓道場に通っている。弓道を継続することで、背中がまっすぐに保つことができおり、頭を使う競技でもあるため、健康づくりにつながっていると大池氏が話してくれた。

弓道場に出向くと、様々な人となりができ、良い人間関係に恵まれたという。シニアのスポーツ等の祭典であるねんりんピックにも出場経験が複数回あり、仲間と楽しんで弓道を行っている。また、会場にもお世話になっているからと毎週月曜日の朝早くに弓道場の的ハリを自主的に行っている。非常に前向きで気配りができる人物でもある。



キラリ賞



戸波しあわせ会

廣瀬 興亜さん (86歳・土佐市)

定年退職後、戸波地域のカラオケ睦会に入会し歌うことを楽しんでいたら、戸波しあわせ会の役員から入会のお誘いを受けて、平成16年度より戸波しあわせ会へ本格的に入会する。その後、平成17年から5年間副会長、平成22年から15年間会長を務め、現在は顧問として活動する。

廣瀬氏は、現職時代に催しや研修等の内容を企画することが多くあり、戸波しあわせ会の活動においてもその経験を発揮している。どう人に楽しんでもらえるか考えることが好きだそうで、会の企画を率先して行っているという。会ではボッチャやカラオケなど皆で遊んだり、講師を招き講義を受けたり等、会員がしたいこと、興味のあることについて意見を聞きながら多様な企画を行う。この会が地域住民のつながりづくりの場にもなっており、今後も皆に参加し続けてもらえるよう様々な企画を練っていくと話してくれた。



キラリ賞



認知症家族の会さくらの会

ケアメンいごっそう

江西 一郎さん (83歳・須崎市)

定年退職後Uターンで帰郷し、62歳ごろから認知症家族の会さくらの会へ入会。67歳ごろからさくらの会会長を務める。78歳ごろには男性介護者の支援等を行うケアメンいごっそうの会長として活動を始める。

行政や地域包括支援センター等と協力しながら、少しでも認知症家族の心が軽くなればという想いで認知症カフェや講演等の企画を考えている。認知症カフェ活動では江西氏がつながりのある市外の家族会をつなげ、須崎市外とも交流を図るようになったという。また、自身も家族を介護していた経験があり、会における講演活動や認知症サポーター養成講座の講師をしながら、認知症家族の気持ちに寄り添い、新たな気づきができる場を構築している。自らのつながりや持前の前向きさで活動の幅を広げ、少しでも前向きに過ごせる方が増えたらという想いで活動している。

団体



シニア大賞 羽根寿会（活動期間59年・室戸市）



七夕の飾り付け

会の設立は59年前、長い歴史がある団体である。七夕まつりやお月見会、昔の遊び体験、敬老参観日等様々な催しを通じた子どもたちとの交流を51年前から開始したそうだ。この交流は、学校の全面的な協力体制もあり、子供たちと会員互いの見守りにもつながっている。この交流の他にも「シルバーセミナー」を月1回開催しており、会員が興味あることを役員で協議しながらテーマ決めしている。

会を継続していくために、役員は1年に1回交代できるように努めているという。これが長い間会が継続できている秘訣であり、皆が主体的に活動できる理由である。今後も1人でも多くの人に入会していただき、活動を継続していきたいと話してくれた。



特別賞 チチナロの会（活動期間8年・大豊町）



羽釜ご飯で炊いたきびご飯

代表小松氏の「ちょっと集まってお茶でも飲まんかね～」の一声がきっかけで約8年前にチチナロの会が発足した。チチナロの会は、大豊町津家地区で月1回食事会を開催している。会の準備は朝の8時頃から、会員が食材を持ち寄って調理をはじめ、五目御飯や煮物、お汁等色とりどりの料理がふるまわれる。お米は昔ながらの手法で「羽釜」で炊き上げている。

この会には年齢、職業、地域を問わず参加者が集まり、多世代間、地域内・外の交流が活発に行われている。会員や参加者からさまざまな話が飛び出し、笑い声をとまることのない会になっているという。急激な過疎が進む大豊町であるが、チチナロの会が誰もが和やかに楽しく過ごせる居場所になっている。



キラリ賞

安芸 GG クラブ

(活動期間 30 年以上・安芸市)



安芸市の土居河川敷グラウンドで月曜日から金曜日までの午前中にグラウンド・ゴルフの練習を皆で行っている。その他にもお花見会や忘年会も行いながら、メンバー同士の交流を行っている。

また、会員は安芸市社会福祉協議会が主催する会議等にも出向き、地域住民とのつながりをつくりながら、会員募集を積極的に行い、会員を増やしている。他にも会員は近隣住民にも積極的に声掛けをしているという。声掛けをきっかけに参加するようになったメンバーは「誰かと話す機会や外出機会が増え、認知症予防にもなっている」と話してくれた。週5日の活動が互いの見守り活動、健康維持、また地域内のつながりづくりとなっている。



キラリ賞 どんぐりの会 (活動期間 2 年・南国市)



どんぐりの会は、南国市立三和スポーツ交流センターで週2回グラウンド・ゴルフの練習を実施、月2回牧野植物園やのいち動物公園等南国市外でウォーキングを実施、不定期に料理教室も開催している。その他にも年4回程度親睦会を実施している。健康づくりをメインに活動しながら、会員の興味があることや全員が楽しめることを模索しながら活動に取り入れ、会員同士の交流ができるよう工夫している。



地域を問わず活動に興味がある方なら誰でも参加できるようになっており、南国市内の様々な地区より会員が集まってきている。活動を通じて、地域のつながりづくりができており、また会員の生きがい・健康づくりにもつながっている。



キラリ賞

ゆるりの部屋 (活動期間 2年・梶原町)



しゃもじ卓球の様子

ゆるりの部屋は、4名の構成員で月2回集いの場づくりを行っている。活動の目的は、独居高齢者や認知症家族、認知症等を患っている方等の居場所づくりである。

集いには毎回5名程度の参加者が集まっており、笑いの絶えない場となっている。集いでは、皆で料理をしたり、ミニゲームをしたり、お茶を飲みながら他愛のない話をしながら交流を深めている。なかでも、代表の掛橋氏が考案した「しゃもじ卓球」は皆に非常に人気があり、毎回実施しているという。

町内でも活動について知る人が増えており、「あの人に声をかけてみたら」と町民から声掛けをしていただくことがあるそうで、町内のちょっとした見守り活動にもつながっている。皆が和やかに楽しめる居場所づくりをしながら、今後も笑顔の絶えない活動を続けていく。

シニア川柳

(年齢は応募時点のものとなっております。)

シニア川柳では「いきいきと活動するシニアに関すること」をお題に65名から181句の多数の応募がありました。ご応募、ありがとうございました。応募作品の中から審査を経て入選した計18作品をご紹介します。自分自身や家族に思うこと、笑いあり、涙ありの輝いた作品となっております。



大賞

懸命にただ懸命に蟬のよに

澤田 良文さん

(67歳・高知市)



優秀賞

臨終の別れの言葉はほいたらね

尾崎 幸子さん

(73歳・高知市)

背い比べ孫が追い越し夏が行く

吉岡 久子さん

(78歳・宿毛市)



審査員特別賞

| | | |
|-----------------|----------|------------|
| 生きてるぞ老々二人の合言葉 | 武政 博さん | (84歳・中土佐町) |
| 穏やかに成長してます物忘れ | 松岡 陽一さん | (84歳・宿毛市) |
| 一人居は家電の声に野次とばす | 上村 典子さん | (86歳・高知市) |
| 若さも恋もはみ出している古日記 | 岡本 十一郎さん | (83歳・高知市) |
| AIさん助けをよんでいいですか | 内田 順子さん | (83歳・高知市) |



佳作

| | | |
|--------------------|----------|-----------|
| 卒寿越え白寿目指して杖を取る | 松岡 武男さん | (91歳・土佐市) |
| Z旗を揚げて老軀にムチを打つ | 桑名 孝雄さん | (96歳・香南市) |
| 「何のため」生まれて生きる問いの果て | 細川 智恵さん | (70歳・高知市) |
| 氏神へ八十路の太鼓だ御祭だ | 西原 時子さん | (80歳・いの町) |
| ホトトギス国籍どこか呼びかける | 小松 恵子さん | (86歳・大豊町) |
| 毎日の楽しい介護金メダル | 掛水 雅海さん | (77歳・いの町) |
| 笑い声世話役さんも生きがいに | 山岡 斗子さん | (75歳・高知市) |
| 人生は出会い今でも探してる | 神田 二三夫さん | (77歳・南国市) |
| もっとつづく戦後百ねん見とどける | 宮村 秋江さん | (79歳・高知市) |
| 年金で支払うベットのホテル代 | 岡田 道子さん | (79歳・高知市) |

皆様、受賞及び入選、誠にありがとうございます



今後さらに明るく活気あふれる高知県となるよう、いつまでもお元気でいきいきと輝いて活動を続けていただきたく、よろしくお願い申し上げます。本会としても、皆様に今後もご活躍していただけるよう、事業の継続及び発展に精一杯努め、皆様の活動の周知・啓発を今後も行つてまいります。